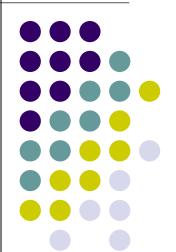
BIMの概要とIFCについて

Building Information Modeling & IFC (Industry Foundation Classes)

一般社団法人 IAI日本 技術検討分科会リーダ

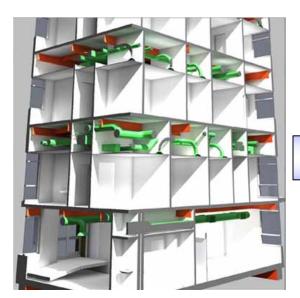
足達嘉信



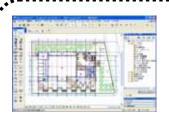
BIMとは

BIM (Building Information Modeling)とは、3次元建物情報モデルを3次元CADで作成し、建物の設計・施工・維持管理フェーズにおいて利活用してゆく、新しいデジタル設計データ活用手法。

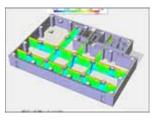
2009年が日本のBIM元年といわれている。



3次元建物情報モデル



正確な平面図·立面図·数量 を3次元モデルデータから自動的 に作成



各種シミュレーション・解析が 設計初期段階において可能(構造・省エネ性能等)

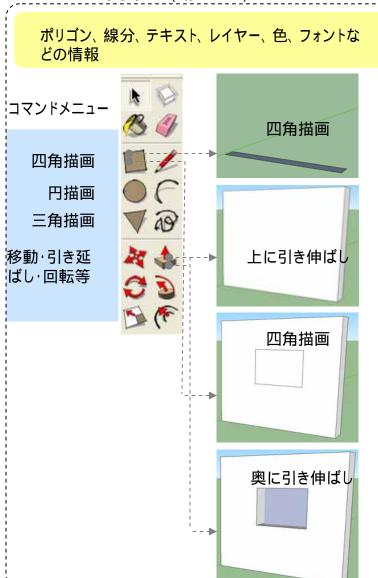


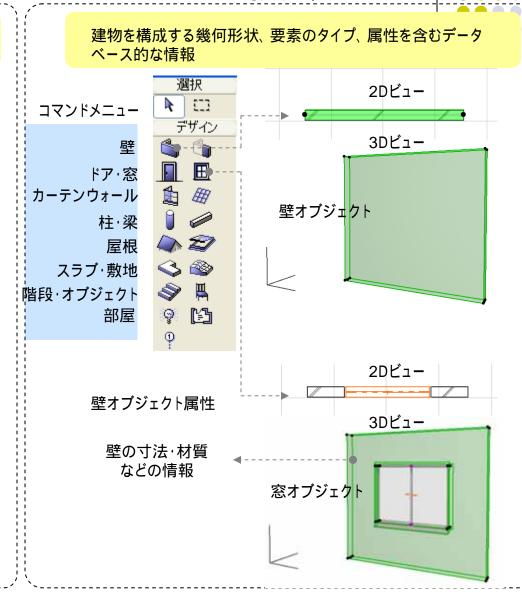
建物維持管理フェーズにおいて もFM、中長期修繕計画、定期点 検等において活用が期待される

3D CADとBIM対応建築CAD

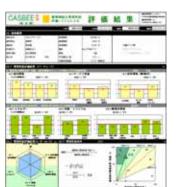
従来の(非BIM)3D CAD

BIM対応建築CAD





BIMの概要 (Building Information Modeling)



環境性能評価



設備モデル



構造モデル



照明解析



空調解析



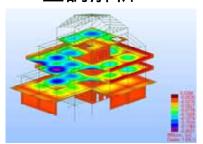
セキュリティプランニング



GIS統合モデル



FM·建物維持管理



構造解析

BIMデータ連携の可能性

検証・モデルチェック

空間計画チェック 日影·逆日影·天空率 3 D レビュー 部材干渉 自動モデルチェッカー

設備

設備BIMモデリング

環境シミュレーション

エネルギーシミュレーション 照明シミュレーション CFD PAL CEC LCC LCA CPTED

積算

自動数量拾い コスト見積もり 在庫管理・調達システム

企画·計画

敷地計画・ゾーニング GIS (地理情報システム)連携 事業計画シミュレーション スケッチ・アルゴリズミックデザイン

意匠

意匠BIMモデリング

BIMデータ連携

維持管理

維持管理 FM AM 不動産 デューデリジェンス GIS

プレゼンテーション

フォトリアリスティック アニメ バーチャル・リアリティ(VR) 3 Dメタバース 拡張現実(AR)

構造

構造BIMモデリング 鉄骨モデリング

構造解析

一貫構造解析 応力解析 部材断面計算 FEM

施工

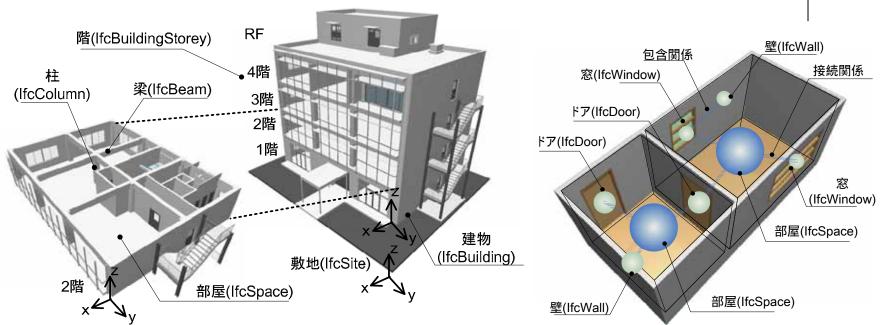
4 D・5 Dシミュレーション 部材生産・加工 仮設計画・施工



BIMデータ連携の要 IFCとは

建物の形状だけでなく属性情報も伝達可能





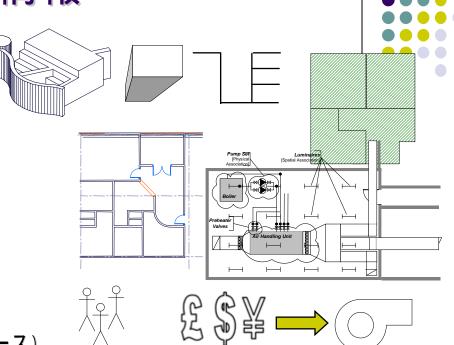
BIMデータの国際標準: IFC (Industry Foundation Classes):
IAI (buildingSMART)が策定しているBIMデータの国際標準
国内外の主要ベンダーが入出力への対応に取り組む

- BIM対応3D-CAD(意匠・設備・構造モデリング)
- ・ シミュレーションソフト(熱力学・構造解析・エネルギー解析など)

IFCは、2012年にISO化予定(ISO 16739)

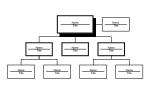
IFCが定義している主な情報

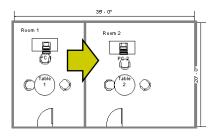
- ■プロジェクト関連情報
- ■空間構造(敷地・建物・階・部屋・ゾーン)
- ■建築要素(壁・ドア・窓・屋根・階段...)
- ■設備要素(空調·電気·衛生機器·搬送...)
- ■構造要素(基礎・鉄骨・鉄筋・解析モデル...)
- ■数量情報(長さ・面積・体積...)
- ■材質情報(仕上げ·層情報...)
- ■幾何情報(2D·3D·ソリッドモデル...)
- ■4D·5D情報(タスク·スケジュール·コスト·リソース)
- ■Actors(人間、組織、住所...)
- ■指示書(設計変更、購入指示、移動...)
- ■資産台帳、在庫
- ■保守履歴·配置管理 •— FM
- ■注記情報(通り芯・2Dシンボル...)
- ■分類コード(DIN, BS, JIS等のコードを格納)
- ■外部ライブラリ·文書(URL, URI)

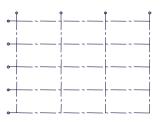






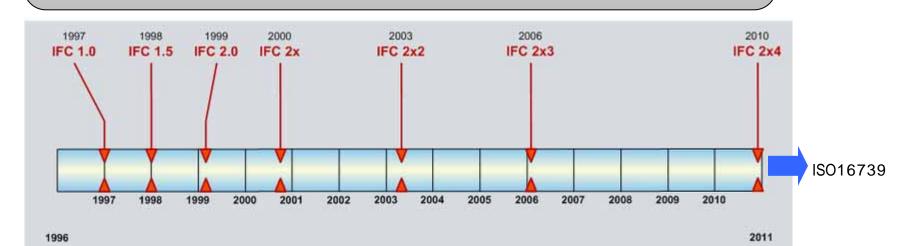






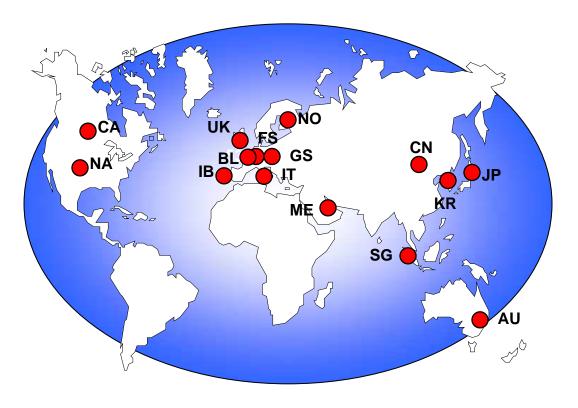
IFC策定の流れ

- IFC Release 1.0 (1997年1月)
- IFC Release 1.5 (1997年12月) 改良版
- IFC Release 1.5.1 (1998年7月) 改良版
- IFC Release 2.0 (1999年4月) 実証実験本格化
- IFC 2x (2000年10月) 改良版
- IFC 2x2 (2003年5月)スコープ拡大(設備・構造)
- ISO/PAS 16739 for IFC 2x Platform (2005年10月)
- IFC 2x3 (2005年12月) スコープ拡大(2D・建物要素等)
- ▶ IFC 2x3 TC-1(2007年7月) Technical Corrigendum 1
- IFC 2x4 (2008年秋予定) スコープ拡大(GIS等)
- IS化NWI開始(2008年春) IFC2x4ベース
- IFC 2x4 beta1,2,3, RC1, RC2(2010年10月)
- ISO 16739 CD (Committee Draft) 2011年6月
- IFC4 RC3 (2011年末)
- IS化 2012年予定 (ISO 16739)





IAI の国際組織 - 15支部



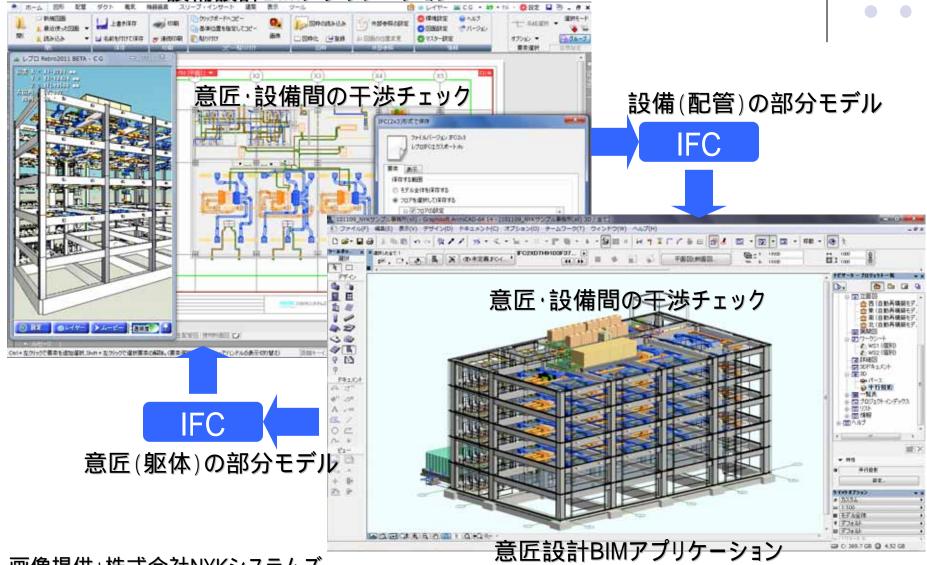
- ●北米支部(NA)
- ●ドイツ語圏支部(GS)
- ●イギリス支部(UK)
- ●日本支部(JP)
- ●シンガポール支部(SG)
- ●北欧支部(NO)
- ●フランス語圏支部(FS)
- ●オーストラレシア支部(AU)
- ●韓国支部(KR)
- ●イベリア支部(IB)
- ●イタリア支部(IT)
- ●中国支部(CN)
- ●ベネルクス支部(BL)
- ●中東支部(ME)
- ●カナダ支部(CA)



意匠·設備間のIFCデータ連携の典型例

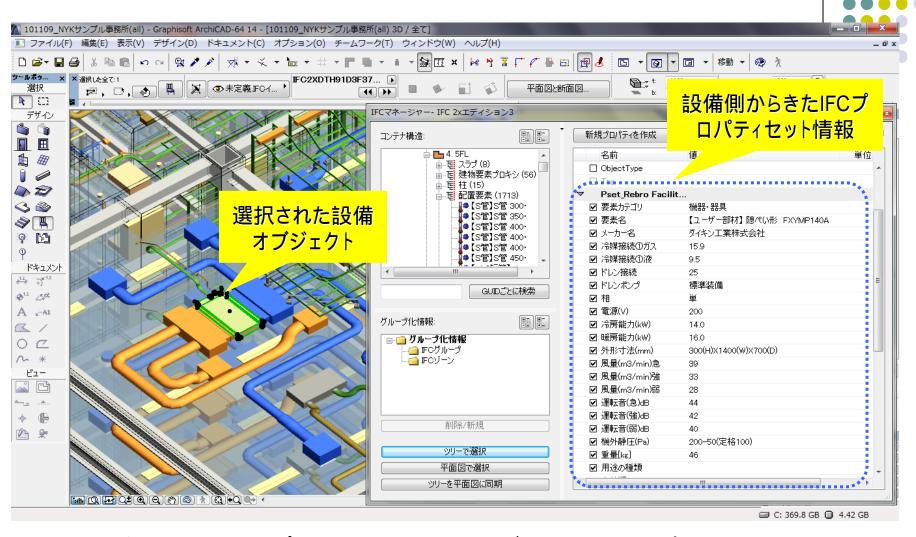






画像提供:株式会社NYKシステムズ

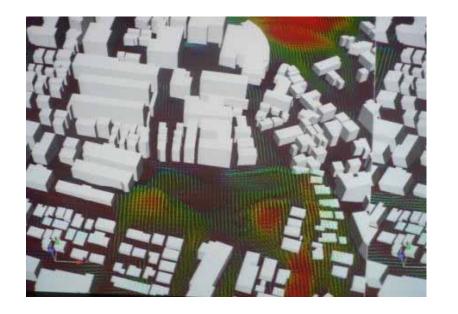
意匠·設備間のIFCデータ連携の典型例



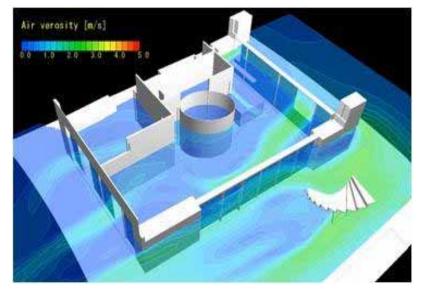
意匠設計BIMアプリケーションへ設備モデルをIFCでインポートし、 設備オブジェクトの属性情報を表示している例

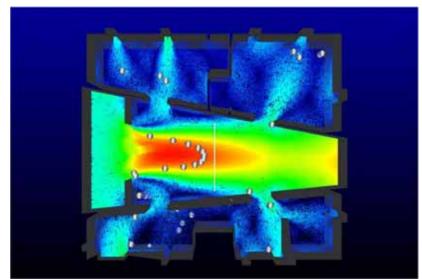
画像提供:株式会社NYKシステムズ

風環境シミュレーション





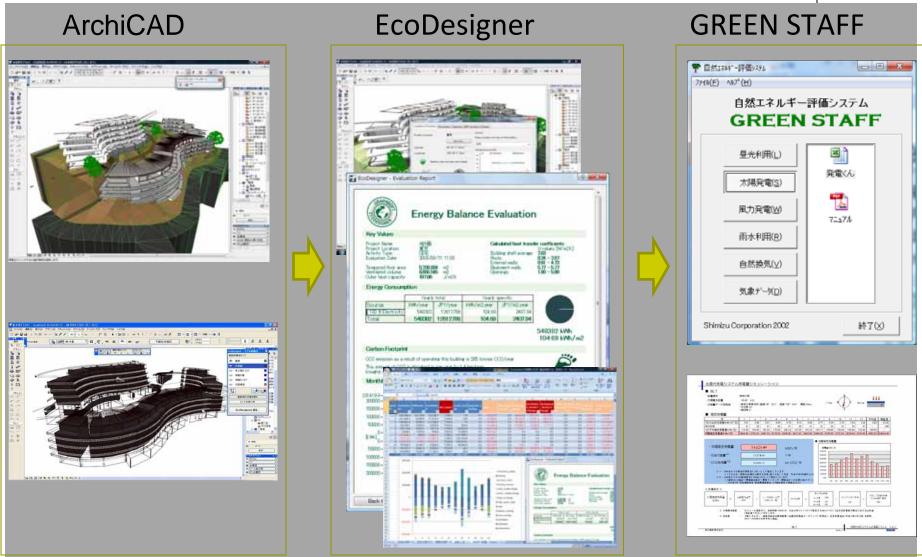




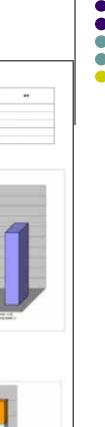
Build Live Tokyo 2009 Part2

省エネ設計へのBIM活用事例





ガラス性能シミュレーションによる検証

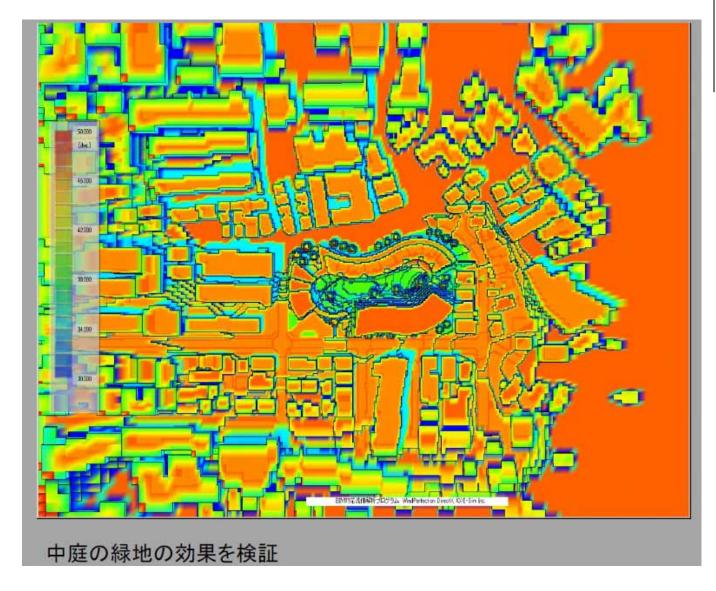




外装材のバリエーションで、年間負荷計算およびPAL計算を行い、もっとも環境 配慮なものを選択。

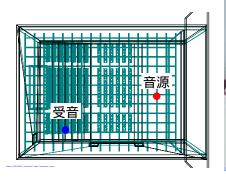
ヒートアイランド検証

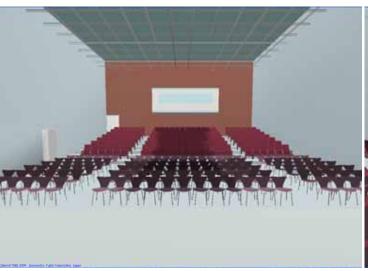




音響シミュレーション

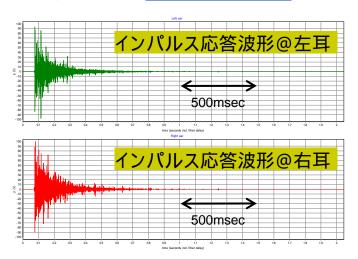
ホール音響解析 座席設置形式



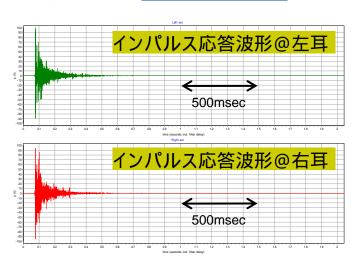




演奏会仕様 (側壁ダブルスキン内の吸音カーテンを収納) 空席残響時間 1.69秒 @ 500Hz



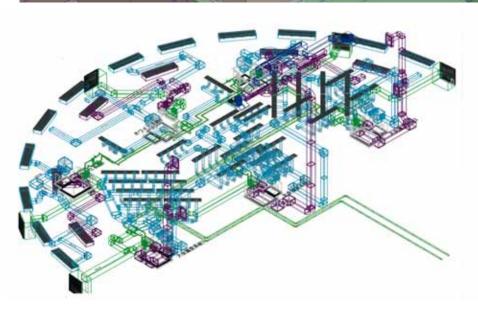
講演会仕様 (側壁ダブルスキン内に吸音カーテンを設置) 空席残響時間 1.12秒 @ 500 Hz

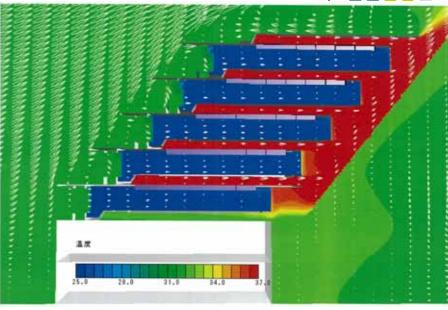


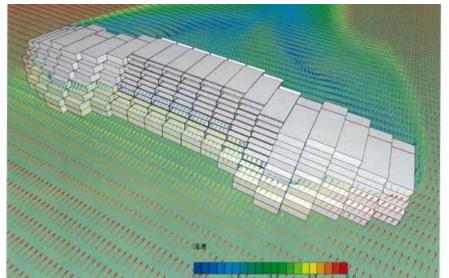
Build Live Tokyo 2010

設備設計·熱流体解析





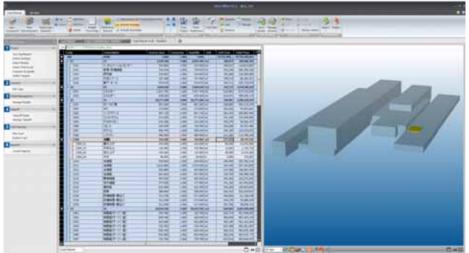


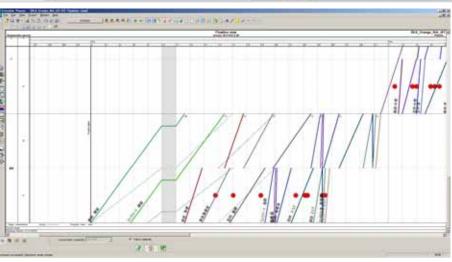


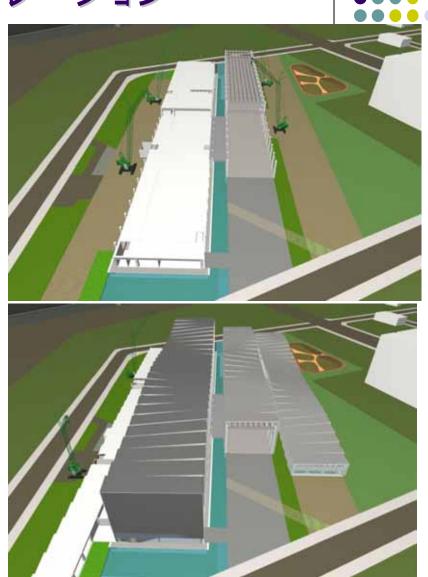
Team タスマニア, Build Live Kobe 2011

施工計画:4D·5Dシミュレーション

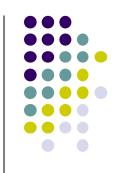
3D+4D(時間)+5D(コスト)







Team ORANGE ARK, Build Live Kobe 2011

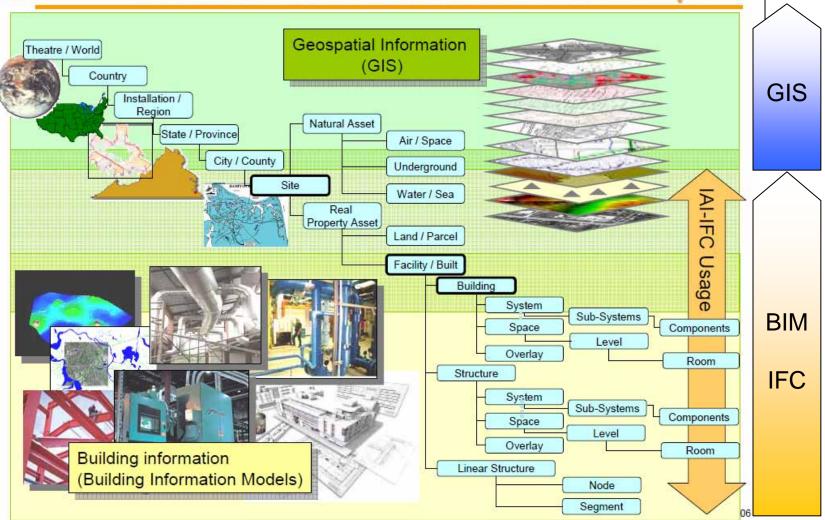


BIMとGISのデータ連携

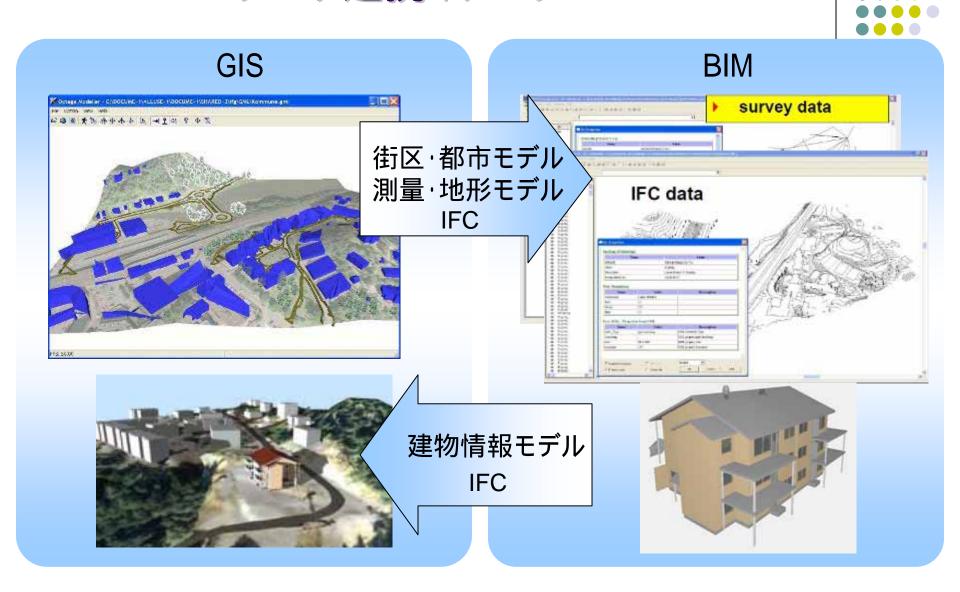
連続的な屋内・屋外モデル化の可能性 BIM・GISと位置情報の活用

地理情報とBIMデータ統合

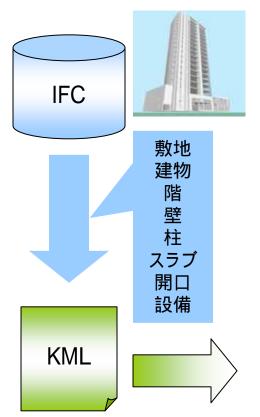




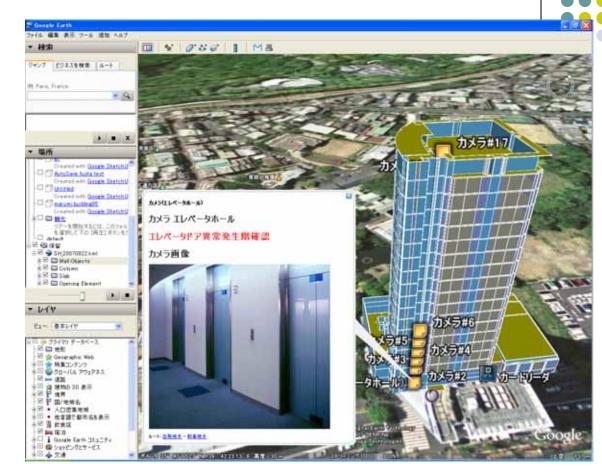
BIM・GISデータ連携イメージ



BIM・GISデータ連携イメージ

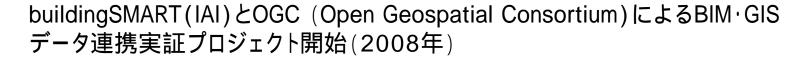


GML、CityGMLのような標準へも変換可能



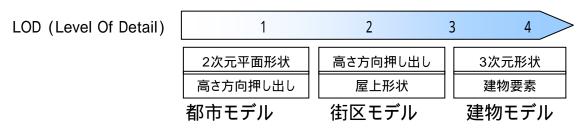
- BIMデータ(IFC)を地理情報システム(GIS)へデータ連携
- リアルタイム情報を統合可能
 - 建物設備情報(空調·照明·出入管理·防犯システム等)
 - 交通、気象など

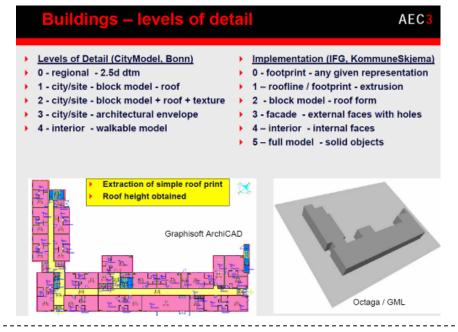
BIM・GISデータ連携

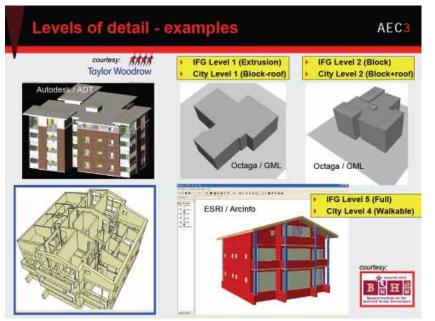




BIM・GISデータ連携時の課題の一つLOD: 建物モデルの詳細度







BIM・GISモデルの詳細度 LOD



100. Conceptual

200. Approximate geometry

300. Precise geometry

400. Fabrication

500. As-built

GISのLOD定義例



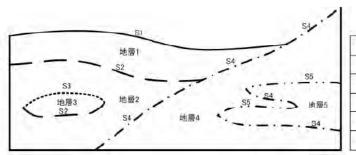
- ■LOD (Level Of Detail or Development)
- ■モデル詳細度の基準の例
 - •AIAのLOD定義(E202)
 - ●各国のBIMガイドライン
 - ・地理情報システム(GIS)分野:都市・地域・街区・敷地レベルにおける建物

参照: TAP Update on BIM for Design, AIA / BIM in the DoD-MHS, EcoBuild 2010

インフラへのBIM・GIS活用

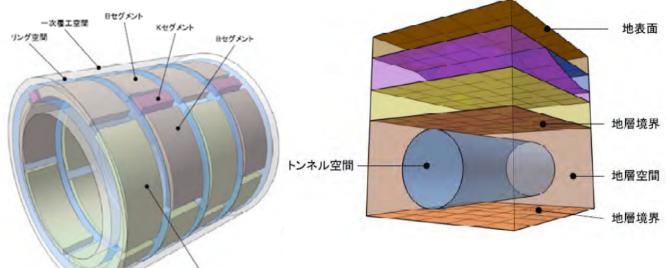
IAI日本土木分科会によるIFCシールドトンネルモデル提案

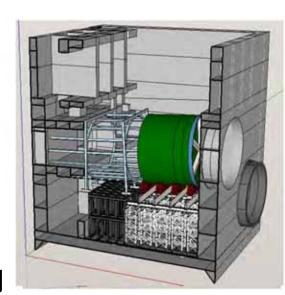
シールドトンネルと地層表現の概要



地層	境界面
地層)	S1 —
地層2	S2 ——
地層3	S3
地層4	S4
地層5	35







モデル情報 + 位置情報 + 計測情報

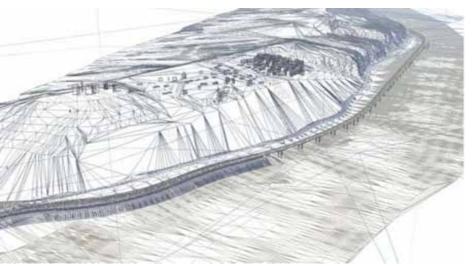
施工現場での活用

参照:土木学会主催、IAI日本共催による「シールドトンネルのプロダクトモデルに関するセミナー」(2012年2月)

インフラへのBIM・GIS活用

- OpenInfra
 - フランスから提案(EGIS社が中心)
 - 今後buildingSMARTにおいてIFCを拡張する計画
 - スコープ
 - 道路・橋梁などのインフラ分野に関するオブジェクトモデル
 - 主に維持管理・シミュレーション





OpenInfraにおける道路維持管理で扱う情報の例

参照:IAI日本 buildingSMARTシンガポール会議報告(2011年9月)





おわり

Copyright © 2012, 一般社団法人 [A]日本



- 一般社団法人 IAI日本
 - ホームページ: http://www.building-smart.jp/
 - 一般社団法人IAI日本事務局 〒112-0013 東京都文京区音羽1-26-11 大和出版ビル3F
 - TEL: 03-5319-3319
 - FAX: 03-5319-1970
 - E Mail : info@iai japan.jp